

2022年度前期 [刑事訴訟法実務特殊講義Ⅰ] [刑事訴訟法特講第二(修士)], [刑事訴訟法研究第二(博士)] 授業評価アンケート (2022年7月11日実施)

6

応答

03:47

完了するのにかった平均時間

終了済み

状態

1. 学年 (その他と回答した方は具体的に記入してください。)

● 1 法学部1年生	0
● 2 法学部2年生	0
● 3 法学部3年生	2
● 4 法学部4年生以上	4
● その他	0



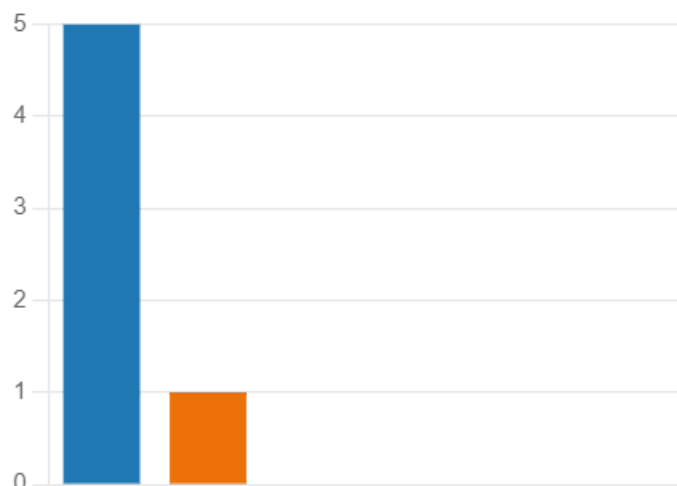
2. この授業の出席状況

● 4 全て/ほとんど出席した	5
● 3 だいたい出席した	1
● 2 あまり出席しなかった	0
● 1 全く/ほとんど出席しなかった	0



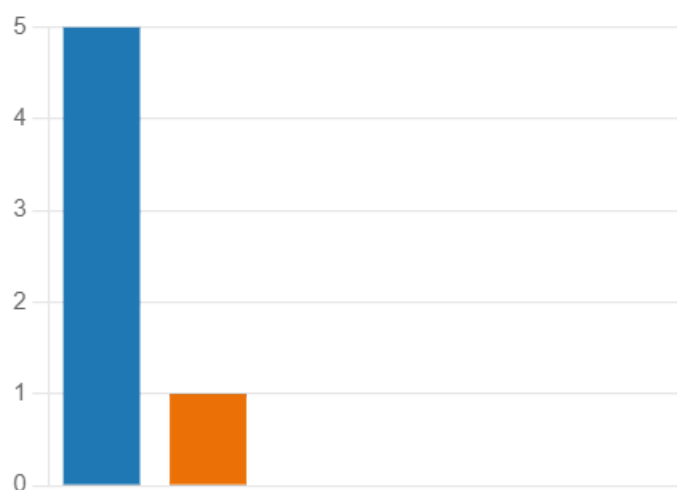
3. 授業内容に興味がありましたか。

- 5 たいへん興味もてた。 5
- 4 興味もてた。 1
- 3 どちらともいえない。 0
- 2 あまり興味もてなかった。 0
- 1 全く興味もてなかった。 0
- 0 わからない。 0



4. 授業内容は理解できましたか。

- 5 よく理解できた。 5
- 4 だいたい理解できた。 1
- 3 どちらともいえない。 0
- 2 あまり理解できなかった。 0
- 1 全く理解できなかった。 0
- 0 わからない。 0

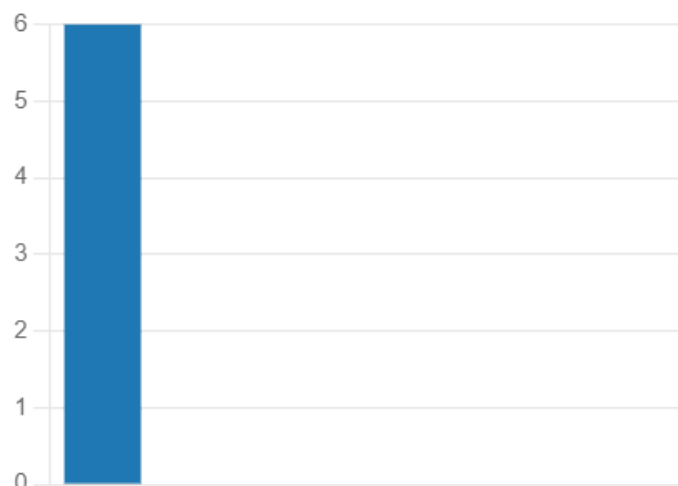


5. 質問4において、2・1を選択した方にお伺いします。その理由は？

0
応答

6. 授業内容の水準は適切と思いますか。

● 5 適切だと思う。	6
● 4 だいたい適切だと思う。	0
● 3 どちらともいえない。	0
● 2 あまり適切ではないと思う。	0
● 1 全く適切ではないと思う。	0
● 0 わからない。	0



7. この質問は、質問 6 において、2 または 1 と回答した人のみ答えてください。

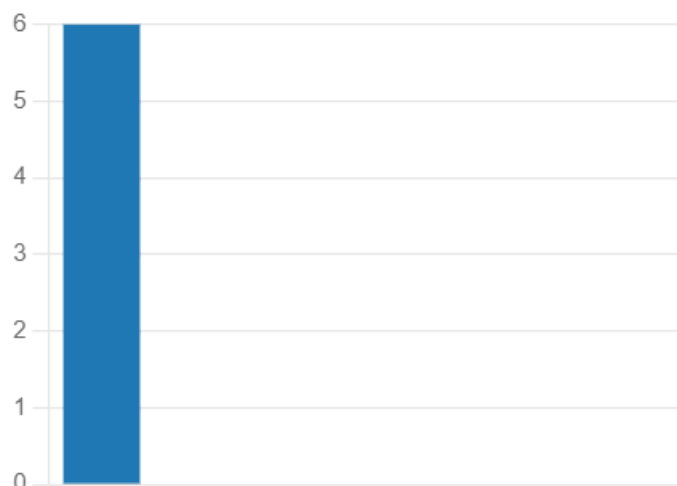
(1) 内容が高度すぎる	0
(2) 内容が簡単すぎる	0
(3) 内容に関心がもてない	0
その他	0

8. 質問 7 において、「その他」を選んだ方について、具体的に書いてください。

0
応答

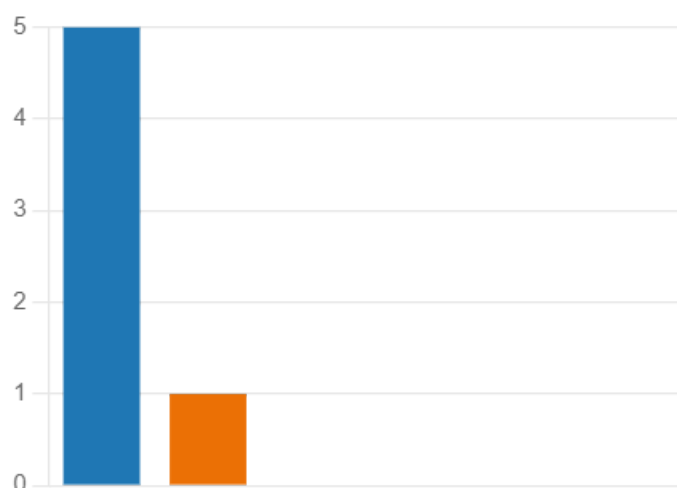
9. 教員は十分準備していると思いますか。

- 5 よく準備している。 6
- 4 おおむね準備している。 0
- 3 どちらともいえない。 0
- 2 どちらかといえば準備が足りない。 0
- 1 全く準備が足りない。 0
- 0 わからない。 0



10. 板書・OHP・配布資料等の視覚的工夫は授業を理解するのに効果がありましたか。

- 5 効果があった。 5
- 4 おおむね効果があった。 1
- 3 どちらともいえない。 0
- 2 あまり効果はなかった。 0
- 1 全く効果はなかった。 0
- 0 わからない。 0



11. あなたはこの授業をどのように評価しますか。

- 5 大変評価できる。 6
- 4 評価できる。 0
- 3 どちらともいえない。 0
- 2 あまり評価できない。 0
- 1 全く評価できない。 0
- 0 わからない。 0



14. (対面とリモート双方で受講されたことがある方へ)

対面とリモートを比較してそれぞれでどんなところが良かった、良くなかったかを教えてください。

良くなかったところについては、こうしたらもっと良くなるんじゃないかという点があればあわせて教えてください。

4

応答

個別回答末尾に掲載

15. この講義で取り上げてほしいテーマや内容 (もっと詳しくというものでも結構です。) があれば、回答してください。

1

応答

個別回答末尾に掲載

16. 自由記述

2

応答

個別回答末尾に掲載

14. (対面とリモート双方で受講されたことがある方へ)

対面とリモートを比較してそれぞれでどんなところが良かった、良くなかったかを教えてください。良くなかったところについては、こうしたらもっと良くなるんじゃないかという点があればあわせて教えてください。

- 1 リモートで参加しても、音声も聞き取りやすく、画面もみやすかったので良かったです。
- 2 リモートで受けても音声十分に聞こえて助かった。
- 3 家が遠いのでリモートで講義に参加できるのは時間短縮になってよかったです。リモートが対面に比べてよくないということはなかったです。
- 4 以下、箇条書きで失礼します。

【対面】

[良かった点]

・先生とのノンバーバルコミュニケーション（視線、うなずき、声のトーン）によって、集中して授業に参加できた

[改善点]

・部屋の明るさが原因で、時々画面の文字が見えにくかった

【オンライン】

[良かった点]

・画面の切り替えや画角が考えられていて、オンライン特有のストレスが一切なかった。これまでのオンライン授業で最も受けやすい授業だった。

[改善点]

・初回からの暗黙の了解で、オンライン参加者は画面オフで受けることになっていたが、強制オンでもいいのではないかと思った。対面との心理的距離感が大きかった。せっかく6人だったので。

15. この講義で取り上げてほしいテーマや内容（もっと詳しくというものでも結構です。）があれば、回答してください。

特にございません！ありがとうございました！

16. 自由記述

学部の講義では詳しく聞けないような部分まで学べたので良かったと思います。特に事実認定、証人尋問・被告人質問の回は面白かったです。

先生のトランクがすごくおしゃれだと思いました！言うタイミングを逃したのでこちらでお伝えしました！

学生による授業評価に対する担当教員の所見

1 この講義の目的

この講義の目的は、①刑事手続の実際を知ることで、刑事訴訟法の分野において議論されてきた論点等についてより深い専門知識と理解を獲得すること、②法律家の書面作成方法を知ることで、思考を整理し、思考内容を分かりやすい文章（＝読み手に、書き手の意図を誤解なく伝える文章）に落とし込む技能を獲得することでした。

2 講義を行うにあたっての工夫

学生のみなさんの理解を深めるため、みなさんがこれまでの講義の中で学習してきた（あるいはこれから学習していく）内容が、現実の刑事手続の中でどのように現れてくるのかということを意識して講義をするように心掛けました。

また、法律全般に言えることかと思われませんが、理解を深めるためには、繰り返し全体を通して学習をすることが効果的であると思われます。そこで、この講義では、前期で基礎編として全体を通して学習し、後期で応用編としてもう一度全体を通すこととしています。

3 期末の課題

レポート課題については、法律の解釈の基本、関係する論点についての理解に加えて、問いに答えることの重要性と、分かりやすい書面とは何か、といった点を体得してもらうことを意識して設定しました。

4 最後に

今期も、新型コロナウイルスの影響で対面とリモート双方に対応する形で講義を行いました。今後もこの状況は続きそうですので、リモートで参加する学生にも、もっと学習効果が上がるような方法を工夫していきたいと思ひます。

ありがとうございました。